

とよま公民館だより



【発行】とよまコミュニティ運営協議会【住所】登米市登米町寺池目子待井 391
【TEL】(0220) 52-2316【FAX】(0220) 52-3657

楽しくハーバリウム作り

フラワー教室移動研修会

1月25日、穏やかな天候に恵まれ、公民館を出発し、仙台市若林区にある、せんだい農業園芸センターに13名で行って来ました。

出発前に館長より「今日は主婦(主夫)休みの日です。ゆっくり楽しんで来てくださいね。」と挨拶がありました。

せんだい農業園芸センターに到着後、ハーバリウムを作りました。1つ作るどころ、2つ目に挑戦した方もいて、「すごく楽しかった。」とニコニコ顔で話していました。



また、園内散策では所長の坂本さんが震災当時の様子や植物のことなどを、丁寧に説明をしてくださいました。

昼食は同区にある、六丁の目農園でいただきました。バイキング形式でヘルシーなメニューが豊富で、夕食が食べられないくらい、たくさん食べてきました。

主婦(主夫)休みの日と合わせて充実した移動研修となりました。

あっという間!

簡単スコップケーキ



1月30日に登米公民館調理室で12名の方が男の料理教室(2回目)に参加しました。

スコップケーキとは、深皿にビスケットやクリームを敷き詰め、大形のスプーンですくって取り分けるケーキのことです。

できあがったケーキにデコレーションをして「お店が出せるね。」と、和気あいあいに話していました。

すでに、次の開催を待っている参加者の方もいて、来年度も開催に向け計画中です。皆さんはどんな料理を作りたいですか?



だれにあげる?

スノーボールクッキー



2月11日(建国記念日)に2回目の親子クッキング教室を登米公民館調理室で開催しました。コロナウイルスのオミクロン株が増えていることから、キャンセルがありましたが、4組9名の方が参加しました。

クッキー作りは、袋の中で米粉とバターをよく混ぜ、形を整えました。子どもたちは、粘土遊びのように、○や□の形を上手に作っていました。中には♡の形を作る子もいて、みんな楽しそうでした。



事業実施にあたっては、3密を避け、手指の手洗い・消毒やマスク・フェイスシールドの着用など、コロナウイルス感染症予防対策を行って開催しております。

“とよまコミュニティ運営協議会”とは ②

とよまコミュニティ運営協議会は 何を行っているか？

平成 25 年 4 月から、登米公民館の管理運営を行っている当協議会は、①登米公民館の貸館業務のほか、②公民館事業として、とよま町民のための文化・スポーツなど生涯学習教室・講座を開催しています。

また、平成 26 年度に策定しました「とよま地区地域づくり計画」に基づき、平成 27 年度からは、「夢」と「生きがい」未来に翼（はば）たく とよま をキャッチフレーズとした ③地域づくり事業も併せて行っているところです。

注) 地域づくり計画は 5 年更新で策定しており、現在は計画期間が令和 2～6 年度の第 2 次計画が進行中です。

とよま地域の課題

現在の第 2 次地域づくり計画を策定する際には、町内全戸を対象にアンケート調査を実施し、また、延べ 6 回にわたるワークショップも行いました。そこで出されたとよま地域の課題としては、次のようなものが上がりました。

- ◆ 公園が少ない。子どもが安心して遊べる公園・グラウンドを整備してほしい。
- ◆ 植栽・側溝清掃など地域内の活動が低下
- ◆ 空き地・空き家が多くなった。
- ◆ 少子化による諸問題が生じている。
- ◆ 秋まつり・体育大会など子どもがいなくて、参加できない町内会が出ている。
- ◆ 就労の場が少なく、若者がいない。
- ◆ 若者が仲間と気軽に集える場所がない。

- ◆ 一人暮らしの高齢者が多い。
- ◆ 地域や集落内に話相手や仲間がいない。
- ◆ 草取り等作業が困難な高齢者がいる。
- ◆ 独自の健康福祉活動がない。
- ◆ 買い物・配食サービス・通院など独居者の生活支援活動が必要 等々

とよまコミュニティ運営協議会が めざす方向性



当協議会は、皆様にこのとよまに引き続きていただくため、次代につなげるために、地域にとって本当に必要なものを見極めと、誰のための地域づくりなのかを、地域の中で話し合う環境を更に進化させていくことが重要と考えます。

そして、地域の皆さんとともに地域活動を実践し、ネットワークを築き上げていくことが持続可能な地域づくりにつながるものと確信します。

令和 4 年度以降も、地域住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の充実となる各種事業を行っていきますので、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

